

4. ビジョンの基本理念

4-1 土師ダム水源地域ビジョンの基本理念

江の川の水源から“はじまる”水と人の循環

流域の歴史・概要

「中国太郎」の異名を持つ江の川は、中国山地のほぼ中央を貫流して日本海に注ぐ幹川流路延長194.0 km、流域面積3,900km²を有し、その流域は広島県・島根県の2県にまたがる中国地方最大の河川です。その名は日本書紀にも「可愛川」として記されるなどその流域の歴史は古く、かつては山陽と山陰を結ぶ交通路として舟運が栄えた他、現在も当時の文化を垣間見ることができる数多くの伝統芸能や文化財が流域各地で継承されています。

また、流域が有する地形がゆえ、市街部は限られた盆地や平野部に形成されており、流域には比較的恵れた自然環境が残されています。

水源地域の役割

この江の川の水が生まれる上流域に建設された土師ダムは、江の川の洪水調節とかんがい用水の補給とともに、太田川への流域変更により、広島市をはじめとする5市5町に住む約180万人の生活用水[※]や工業用水の一部を担うという全国的にも広域かつ多目的な特徴的機能を有しており、その機能を支える「水源地域」は、江の川下流地域はもとより、広島県の生活・経済基盤を支える重要な役割を担っています。

また、総面積の約8割を森林が占める水源地域は、水源を涵養するという健全な水循環の維持機能をはじめとして、土砂災害防止・土壌保全機能、生物の多様性、地球温暖化の緩和（温室効果ガスの吸収）・気候の安定化など、その公益的機能は、流域はもとより地球規模の環境を維持する上で欠かすことのできない様々な役割をはたしています。^{※参考：「広島県」および「広島県企業局」のホームページより}

水源地域の課題

しかし、現在、水源地域においては、人口の減少や高齢化に伴い、森林をはじめとする水源環境の保全・回復機能の適切な維持管理への懸念や、地域の発展を担う様々な担い手の不足など、多くの問題を抱える一方で、下流域や受益地の人々への水源地域の役割、重要性に対する認識は、必ずしも十分とはいえない状況にあります。

水源地域活性化に向けた考え方

今後は、水源地域という限られた地域だけではなく、下流域や受益地を含む流域圏という広い視点に立ち、水源地域が流域圏全体の資産であることを流域住民が共有化するとともに、水源地域が自立的、持続的に発展していくことが重要となります。

そのためには、これまでの水源地域としての歴史や役割を十分に踏まえ、江の川、太田川という水で結ばれた軸を中心として上下流の様々な情報を発信し、交流と連携を育むことにより、水源地域の意義や役割を流域圏全体として共有化していくとともに、交流人口の増大や下流域・受益地との連携・協働による取組みの活発化を図り、流域圏として水源地域を様々な面で支えていくことが必要です。

また、水源地域においては、地域が備える恵まれた自然環境や水環境を保全するとともに、これらの資源や魅力を十分に引き出し活用することにより、水源地域自体が高齢化・過疎化に負けない活力のある特徴ある地域づくりを推進していくことが重要です。

土師ダム水源地域ビジョンの基本理念

土師ダム水源地域ビジョンでは、水源地域の将来象として「江の川の水源から“はじまる”水と人の循環」を目指し、水源地域と下流・受益地との絶え間ない水の循環と人の往来による、豊かな水源地域づくりを推進するものです。

4-2 水源地域の課題の整理

土師ダム水源地域の自立的・持続的な活性化を目指すにあたり、水源地域が現在抱える課題について、委員会及び検討ワークショップで得られた意見を基に、「改善すべき課題」及び「活かすべき課題・魅力・活動」に分類し、それぞれの観点から整理を行いました。

自然環境及び水環境

■改善すべき課題■

水源地域（安芸高田市、北広島町のうち旧千代田町域及び旧大朝町域）の約8割が森林（水源林）に占められ、うち9割以上が民有林となっている。しかし近年、森林の不在所有者が増加したことにより、森林（水源林）の管理不足と風水害に対する脆弱性が課題となっている。

また、夏季における土師ダム貯水池の水質の悪化（富栄養化）も懸念されている。

■活かすべき課題・魅力・活動の一例■

- ・都市域では体験ができないような恵まれた様々な自然環境（山・森・川・湖）
- ・地域の子供達より下流都市域の子供達のほうが環境に対する関心が高い
- ・全国的な森林環境税や水源税に対する理解と導入の推進

社会環境

■改善すべき課題■

水源地域では、人口の減少、高齢化の進行が広島県全体に比べても進んでおり（高齢人口比30%を越える。広島県全体では18.5%）、これらも要因となり地場産業（農業・林業）の低迷、生産意欲の低下、後継者不足などが課題となっている。

■活かすべき課題・魅力・活動の一例■

- ・長年培った知恵やアイデアを有する多くの人材が在住
- ・産直販売所の開設など新たな事業の試み

地域資源

■改善すべき課題■

水源地域には特出した観光資源がなく、近年入り込み観光客数の低迷が課題となっている。

八千代湖周辺については、八千代湖の入込み観光客数の減少などによる遊休施設の存在、施設の維持管理費の増大が課題となっており、施設の通年の利用方法の考案などが求められている。また、春に大勢の人が訪れる湖岸の約6,000本の桜については高齢化が課題となっている。

■活かすべき課題・魅力・活動の一例■

- ・歴史や文化にちなんだ多くの地物や物語の存在
- ・「NPOひろしまね」をはじめとする「流域資源調査」の実践
- ・湧水、木材や山菜などの山の幸、新鮮で高品質な農産物など、水源地域ならではの様々な素材
- ・中国地方有数の桜の名所として、春には多くの花見客が来訪
- ・オリンピックの出場等を目指したスポーツ活動の拠点（全日本級の選手の練習フィールド）

広域的な交流・連携

■改善すべき課題■

水源地域では様々な活動が行われているが、活動間の交流、連携をリードする受け皿（団体・担い手）が少ないことが課題となっている。各地で開催されている様々なイベント等の情報の一本化や、上下流域での交流機会、交流の拠点となる施設等などが求められている。

■活かすべき課題・魅力・活動の一例■

- ・「やまなみ大学」や「人と樹の会」などの、八千代湖周辺や地域の自然環境を活用した様々な活動の実践
- ・「NPOひろしまね」をはじめとする江の川流域での活動の実践
- ・地域内での自然保護や地域振興に関わる活動の実践

人材の発掘・育成・支援

■改善すべき課題■

近年、子どもだけでなく、子どもに教育する大人の自然体験が乏しいため、人材の育成が困難な状況となっている。しかしその一方、自分が有する優れた技に気付いていないという人も多い。大人・子供ともに自然体験できるようなプログラムや、優れた人材の発掘が課題となっている。

■活かすべき課題・魅力・活動の一例■

- ・長年培った知恵やアイデアを有する多くの人材が在住（再掲）

広報・啓発の推進

■改善すべき課題■

受益地の住民は、土師ダムの水（土師ダムの恩恵）を利用している認識が必ずしも十分ではないことなどが課題となっている。このため、水源地域から都市域に対する地域情報や、洪水調節などの土師ダムの役割や周辺施設のPRなどが求められている。

■活かすべき課題・魅力・活動の一例■

- ・近年の異常気象（洪水・渇水時）等を契機とした水に対する安心・安全の意識の向上